


この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はW167 GLE-Classにフロントスポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品に無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

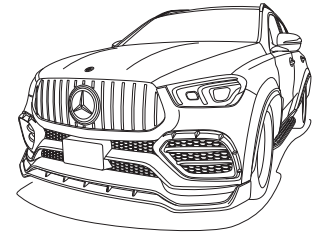
 このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT SPOILER	フロントスポイラー本体	1
	ダクトネット	1
	M4×15 タッピングビス	4



FRONT SPOILER

【塗装前作業】

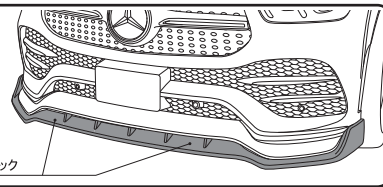
- 1) スポイラーを車両に仮合わせして下さい。(両面テープは使用しないで下さい。)
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 2) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3) フェンダー内の固定部分にスポイラーのビス穴を利用し、車両側に穴開け位置をマーキングして下さい。
- 4) スポイラーを車両から取り外し、マーキングの位置に取り付けビスに応じた適切な穴を開けて下さい。
- 5) 図を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

作業内容: (5)

※塗り分け位置説明図

デモカーは図の様に塗り分けております。

マットブラック

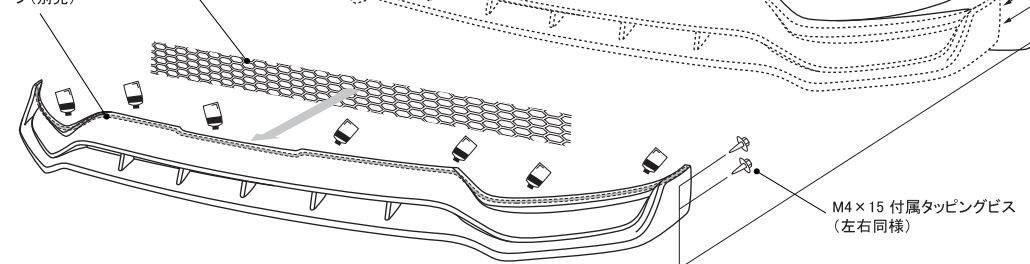


【塗装後作業】

- 6) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。
- 7) スポイラーのダクト部分裏側に付属のダクトネットをコーキングボンド(別売)等で、固定して下さい。
- 8) スポイラーをマーキングした取り付け位置に合わせ、両面テープとコーキングボンド等(別売)で車両に接着し、各固定箇所を仮止めて下さい。
- 9) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 10) 接着している部分はパーツが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

両面テープ(別売)

ダクトネット



M4×15 付属タッピングビス (左右同様)

△ 注意 ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。


この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はW167 GLE-Classにダクトカバーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にして下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品に無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、緑石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

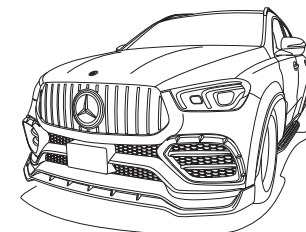
 このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
DUCT COVER	ダクトカバー(左右)	1set



DUCT COVER

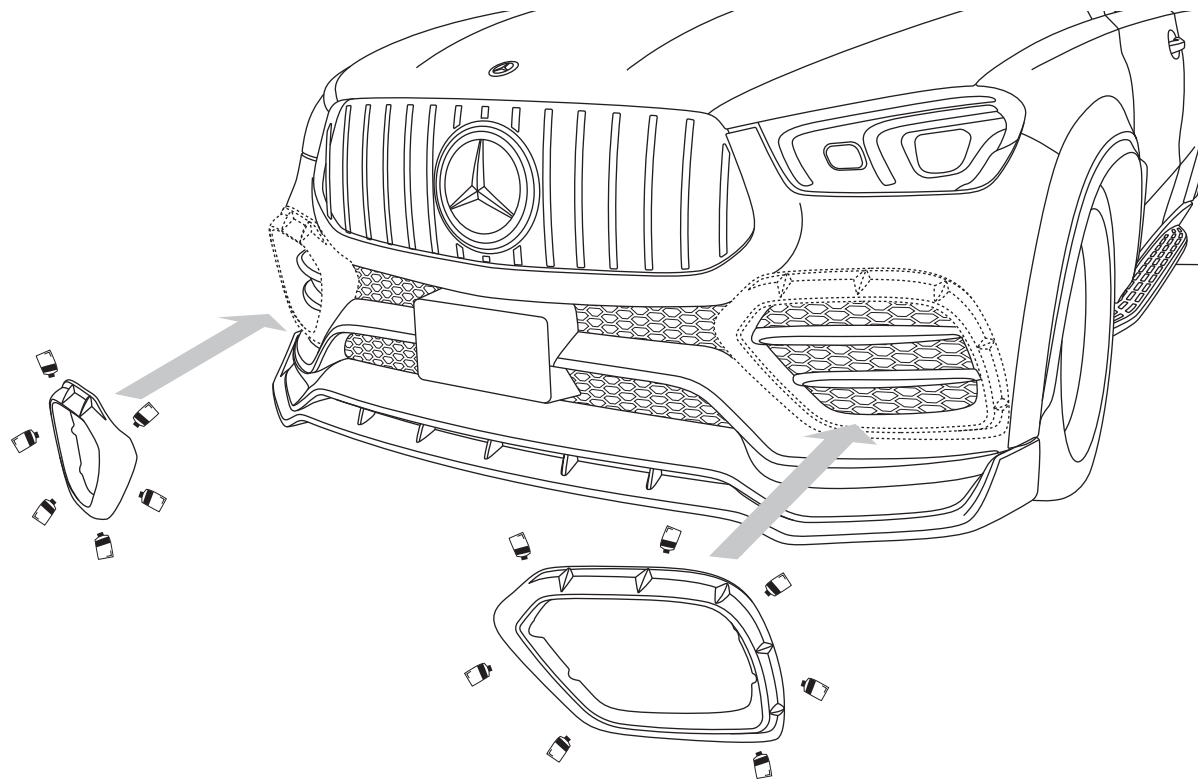
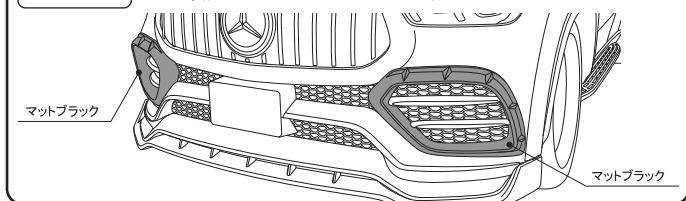
【塗装前作業】

- 1)ダクトカバーを車両に仮り合わせて下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※PTSセンサーの動作確認を行い、センサーがスポイラーに反応する場合はセンサーが正常に動作するよう微調整をして下さい。
- 2)全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3)図を参考に任意で塗装してください。

【塗装後作業】

- 4)各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 5)ダクトカバーをマーキングした取り付け位置に合わせ、コーキングボンド等(別売)で車両に接着して下さい。
- 6)全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、確実に固定して下さい。
- 7)接着している部分はパーツが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

作業内容:(3) ※塗装説明図 デモカーは図の様に塗装しております。



△ 注意 ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はW167 GLE-Classにオーバーフェンダーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品に無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、緑石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

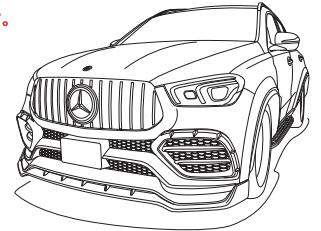
※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
OVER FENDER	オーバーフェンダー本体(前後左右)	1set
	リアドアパネル(左右)	1set
	ダクトネット	4
	M4×15 タッピングビス	12

※本製品の取り付けにより車検記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。

※ローダウンした場合、タイヤが干渉します。



OVER FENDER

【塗装前作業】

- 1) 図を参考にオーバーフェンダー、リアドアパネルを車両に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※PTSセンサーの動作確認を行い、センサーがスポイラーに反応する場合はセンサーが正常に作動するよう微調整をして下さい。
- 2) フィッティングを確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3) 固定部分にオーバーフェンダーのビス穴を利用し、車両側に穴開け位置をマーキングして下さい。
- 4) オーバーフェンダーを車両から取り外し、マーキングの位置に取り付けビスに応じた適切な穴を開けて下さい。
- 5) 図を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 6) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 7) 付属のダクトネットをオーバーフェンダー裏側から取り付けます。
コーキングボンド(別売)等を使用し、接着して下さい。
※ネットはダクトの形状に合わせてカットして下さい。
- 8) オーバーフェンダー、リアドアパネルをマーキングした取り付け位置に合わせ、コーキングボンド等(別売)で車両に接着し、各固定箇所を仮止めて下さい。
- 9) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 10) 接着している部分はパーツが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

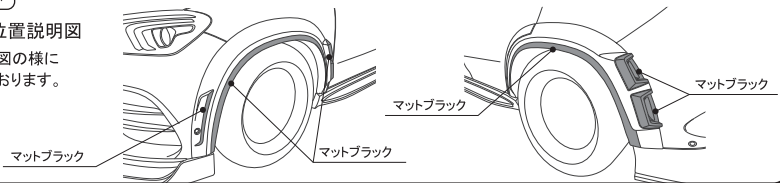
作業内容:(5)

■フロントオーバーフェンダー

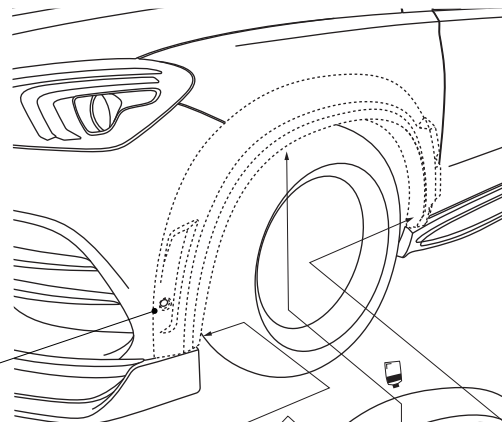
■リアオーバーフェンダー

※塗り分け位置説明図

デモカーは図の様に塗り分けております。

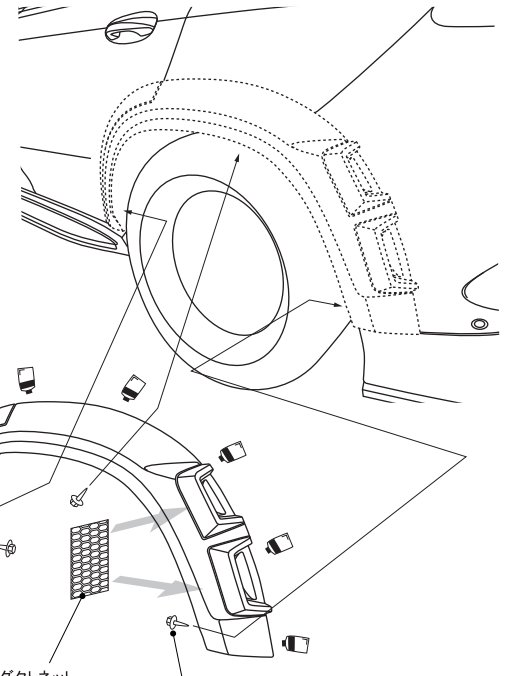


■フロントオーバーフェンダー



PTSセンサー
(左右同様)

■リアオーバーフェンダー



リアドアパネル
(左右同様)

付属ダクトネット
※カットしてご使用ください
(左右同様)

M4×15
付属タッピングビス
(左右同様)

付属ダクトネット
※カットしてご使用ください
(左右同様)

M4×15 付属タッピングビス
(左右同様)

△ 注意 ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。


この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はW167 GLE-Classにリアスカートを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品に無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、緑石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

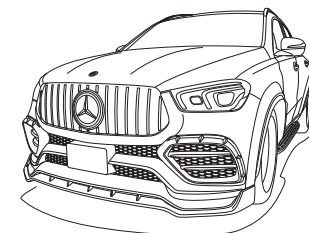
 このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をオススメ致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR SKIRT	リアスカート本体	1
	M4×15 タッピングビス	4
	LEDランプ(固定ビス付)	1
	LEDカバー	1
OPTION PARTS	WALDマフラーカッター	1set



REAR SKIRT

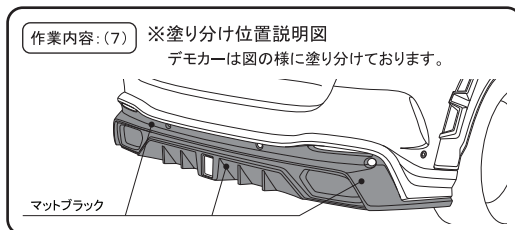
【塗装前作業】

- 1) 純正のサービスマニュアル等に従って、純正メッキパーツ(マフラーカッター含む)を取り外して下さい。また、別紙を参照し純正バンパーをカットして下さい。
- 2) スポイラーを車両に仮合わせして下さい。(両面テープは使用しないで下さい。)
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※PTSセンサーの動作確認を行い、センサーがスポイラーに反応する場合はセンサーが正常に作動するよう微調整して下さい。
- 3) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 4) 固定部分にスポイラーのビス穴を利用し、車両側に穴開け位置をマーキングして下さい。
- 5) スポイラーを車両から取り外し、マーキングの位置に取り付けビスに応じた適切な穴を開けて下さい。
- 6) LEDランプの接続に必要な配線作業を行い、必ず点灯確認して下さい。
※使用しない配線(車両側も含む)に関しては、必ず絶縁処理を行ってください。
※車検時にLEDカバーが必要になる場合がありますので保管願います。
- 7) 図を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

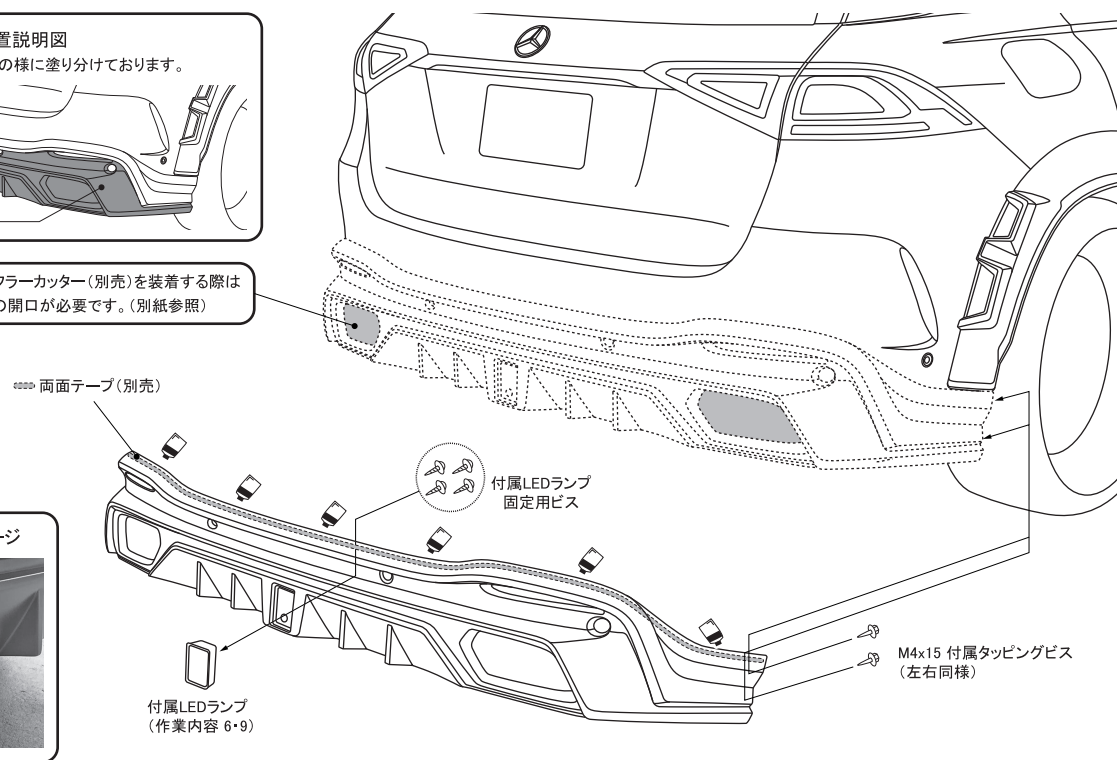
【塗装後作業】

- 8) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 9) 付属のLEDランプをリアスカートに取り付け、配線を接続し点灯確認して下さい。
- 10) スポイラーをマーキングした取り付け位置に合わせ、両面テープとコーキングボンド等(別売)で車両に接着し、各固定箇所を仮止めして下さい。
※両面テープの剥離紙は、全て剥がさず調整ができる様に両端のみを剥がして下さい。
- 11) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 12) 接着している部分はパーツが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

△ 注意 ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。



※WALD製マフラーカッター(別売)を装着する際はスポイラーの開口が必要です。(別紙参照)



本書はW167 GLE-Classにリアスカートを取り付ける際に必要な純正パーツの加工部分について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

■ リアスポイラー 取り付け要領書



リアスカートの装着には純正バンパーのカットが必要になります。純正のサービスマニュアル等に従って、メッキパーツ(マフラーカッター含む)を取り外してスポイラーを車両に合わせて下さい。画像のカットラインを参考にスポイラーが干渉しない位置まで調整をしながら純正バンパーをカットして下さい。

■ WALD製マフラーカッター取り付け要領書

WALD製マフラーカッターを装着する際は、スポイラーのマフラー出口部分をカットし、開口して下さい。(図1参照)

※注)写真はクーペ用の製品を使用しています。



WALD製マフラーカッター装着時の画像です、マフラーカッターが干渉しない様に純正バンパーのカット部分を広げて下さい。(図2・図3参照)